

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

もう一つの花王を起業する 長谷部 佳宏 (花王社長)

1. 予測不可能な事態が次々と発生する世界で、どうすれば勝ち残れるか。日用品国内最大手の花王は、危機の最中にあえて業務転換に挑む。異物を排除して得意分野に集中するだけでは、イノベーションは生まれない。「もう一つの花王を起業する」。この壮大な目標に向かって、腕利きの研究者や各事業部門のエースら約100人が新規事業分野に取り組んでいる。プロジェクト名は「Another kao (アナザー花王)」。構想の発案者は2012年に1月に就任した長谷部佳宏社長である。
2. 花王の創業は1887年、せっけんに始まり、ヘアケアやボディーケア、食器用洗剤やおむつなど、「日用品」を主力に135年の歴史を紡いできた。だが長谷部氏は「今の事業だけではいずれ頭打ちになる」と危機感を抱く。「アナザー花王で目指すのは過去とは違うビジネスモデルの構築だ。新しいエンジンが将来のために必要だ」。こうした思いから、メディカル(治療・診断)領域への参入を目指す。
3. 長谷部氏はこう信じる。「イノベーションは混沌とした時代にこそ生まれる。まだ力があるときに現状を覆す次のビジネスモデルを立ち上げて大きく乗り移る。これこそ経営が一番やるべきことだ」。2025~30年に向けて「もう一つ花王」を完成させると誓う。
(参考:「日経ビジネス」2022年3月28日号)

経営者のための理念・哲学

逆境に耐える

福地 茂雄 (アサヒビール社友)

1. 「耐える」という言葉は、もはや辞書の中にしか存在しないと私は思っています。逆境と順境は、人生においても企業経営にとっても、交互にやってくるものです。順境の時には逆境の芽が潜んでいる。一方、厳しい冬の寒さの後には、やがて暖かい春がやってきます。逆境は誰にもどこにでも例外なく訪れます。
2. 人と人との関わり合いから生じる逆境に際し、今日の日本人の多くは「耐える」ということを忘れてはいないでしょうか。歴史をひもといてみても、「耐える」ということはかつて日本人の美德でした。それが飽食に慣れ、豊かな生活に包まれた今日、いつの間にかすべてにわたって「耐える」ことより、「社会が悪い」「国が悪い」と自己責任を考える前に、「他責」に逃げ込んでしまっていないでしょうか。

(参考:「致知」2022年6月号)

経営者のための危機管理

日本の半導体の「没落」原因

張忠謀(モリス・チャン、台湾、TSMC創業者)

1. 「日本は80年代に世界の半導体産業をけん引したのに衰退しました」
張:「衰退した原因の一つは、プラザ合意(89年9月、先進5ヶ国によるドル高是正に向けた協調行動への合意)でした。1ドル=240円だったのが、87年末には120円まで円が上昇しました。もう一つは、韓国サムスン電子の李健熙(イ・ゴンヒ、2020年に会長職で死亡)の存在です。優れた経営者で、1000人に1人いるかどうか。これに対し日本の東芝、日立製作所、NECでは、半導体ビジネスを統括しているのはあくまでマネジメントの人材でした」。
- 2 「欧米や日本は半導体製造において復権できると思いますか」
張:「その鍵は、台湾と韓国、そして中国がどうなるか次第です。台湾と韓国が勢いを増し続け、中国が前進し続けるなら、欧米や日本の半導体復権は今後20年以内には起こりそうもありません」。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2022年4月9・16日号)

古典に学ぶ

人の子としての孝道は簡単ではない

(解説) 人の子としての孝道は、かく簡単なるものではあるまい。親の思う通りはならず、絶えず親の膝下しつかにいて親をよく養うようなことをせぬ子だからとて、それ必ずしも不孝の子ではない。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)